

胸膜中皮腫の TNM 分類第 9 版運用に関するお知らせ

2025 年 5 月

会員各位

「肺癌取扱い規約第 9 版」が改訂出版され、肺癌については 2025 年 1 月から TNM 分類第 9 版を使用することはすでに日本肺癌学会より周知されているところですが、胸膜中皮腫についても、2025 年 1 月より TNM 分類第 9 版を用いて、放射線画像・病理所見を含めたデータ整理や、NCD への症例登録をお願い申し上げます。すでに、NCD 登録をされている会員におかれましては、誠に申し訳ございませんが、TNM 分類第 9 版にて修正入力をお願い申し上げます。

変更の要点は以下の通りです。

- (1) 葉間胸膜が他の胸膜とは別に扱われる。
- (2) cT 因子のみに、以下の大幅な改訂がなされた。
 - (ア) Pleural thickness (胸膜厚)が初めて採用された。
 - (イ) 第 8 版で T2 とされていた非貫通性横隔膜浸潤および肺実質浸潤、T3 とされていた endothoracic fascia (胸内筋膜)浸潤、非貫通性浸潤は cT 規定因子から除外された。
- (3) pT 因子は、葉間胸膜浸潤を T2 とすること以外に変更はなかった。したがって、cT 因子と pT 因子では内容が異なることになった。
- (4) N および M 因子について変更はなかった。
- (5) 病期分類が変更された。

詳細につきましては、中皮腫瘍取扱い規約第 2 版(金原出版 ISBN 978-4-307-20480-4)をご参照ください。

<https://www.kanehara-shuppan.co.jp/books/detail.html?isbn=9784307204804>

日本呼吸器外科学会
日本石綿・中皮腫学会